

(問題用紙は、全部で14枚である。)

(40分)

〔注意〕問題は、全部で20問ある。解答については、指定のマークシートに記入すること。

記入については、マークシートにある《注意事項》を参照すること。

- 1 次の文章は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）からの抜粋である。文章中の空欄（①）～（④）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

○（中略）今は正に、社会からの学校教育への期待と学校教育が長年目指してきたものが一致し、これからの時代を生きていくために必要な力とは何かを（①）、共に育んでいくことができる好機にある。これからの教育課程には、社会の変化に目を向け、教育が普遍的に目指す根幹を堅持しつつ、社会の変化を柔軟に受け止めていく「社会に開かれた教育課程」としての役割が期待されている。

このような「社会に開かれた教育課程」としては、次の点が重要になる。

- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。
- ② これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に（②）、自らの人生を（③）ために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。
- ③ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、（④）を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

	①	②	③	④
ア	教職員と保護者が共有し	育まれることで	教授してもらう	情報ネットワーク
イ	学校と社会とが共有し	向き合い関わり合い	切り拓 ^{ひら} いていく	放課後や土曜日等
ウ	教職員と保護者が共有し	向き合い関わり合い	教授してもらう	情報ネットワーク
エ	教職員と保護者が共有し	育まれることで	切り拓 ^{ひら} いていく	放課後や土曜日等
オ	学校と社会とが共有し	育まれることで	切り拓 ^{ひら} いていく	情報ネットワーク

- 2 次の文章は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）からの抜粋である。文章中の空欄（①）～（⑤）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

- （①）を定める日本国憲法の下、民主主義を尊重し責任感をもって政治に参画しようとする国民を育成することは学校教育に求められる極めて重要な要素の一つであり、（②）歳への選挙権年齢の引下げにより、小・中学校からの体系的な（③）の充実を図ることが求められている。
- また、（③）については、政治に関わる主体として適切な判断を行うことができるようになることが求められており、そのためには、政治に関わる主体としてだけではなく広く国家・社会の形成者としていかに社会と向き合うか、例えば、経済に関わる主体（（④）等としての主体を含む）等として適切な生活を送ったり産業に関わったりして、社会と関わるようになることも前提となる。
- （中略）必要な資質・能力の具体的な内容としては、国家・社会の基本原則となる法やきまりについての理解や、政治、経済等に関する知識を習得させるのみならず、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、課題の解決に向けて、協働的に追究し根拠をもって主張するなどして合意を形成する力、よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に主体的に参画しようとする力である。これらの力を教科横断的な視点で育むことができるよう、教科等間相互の連携を図っていくことが重要である。
- これらの力を育んでいくためには、発達段階に応じて、家庭や学校、地域、国や国際社会の課題の解決を視野に入れ、学校の（⑤）を確保しつつ、例えば、小学校段階においては地域の身近な課題を理解し、その解決に向けて自分なりに考えるなど、現実の社会的現象を取り扱っていくことが求められる。

	①	②	③	④	⑤
ア	社会民主主義	18	義務教育	労働者	政治的中立性
イ	議会制民主主義	16	義務教育	消費者	政治的中立性
ウ	議会制民主主義	18	主権者教育	労働者	宗教的中立性
エ	社会民主主義	16	主権者教育	消費者	宗教的中立性
オ	議会制民主主義	18	主権者教育	消費者	政治的中立性

3 次の①～⑤の文は、児童虐待への対応として法律に定められている内容を説明したものである。内容が正しければ○，誤っていれば×とすると，○×を正しく組み合わせているものはどれか，下のア～オから1つ選びなさい。

- ① 通告を受けた児童相談所はすべての事例について家庭内に立入調査を行う。
- ② 虐待を受けている児童を児童相談所が一時保護する場合，保護者の同意を得なければならない。
- ③ 児童虐待を受けていると思われる児童を発見した者は通告する義務がある。
- ④ 要保護児童の在宅支援においては，要保護児童対策地域協議会で関係機関が情報を共有し，協働して支援を行うことができる。
- ⑤ 児童養護施設に入所したケースについて，児童と保護者が家庭復帰を希望すれば家庭に戻さなければならない。

	①	②	③	④	⑤
ア	○	○	○	×	×
イ	×	×	○	○	○
ウ	×	○	×	○	○
エ	×	×	○	○	×
オ	○	○	×	×	○

4 次の①～④の文は、「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」（平成21年3月 文部科学省）における自殺の危険が高まった子どもへの対応の原則と留意点について述べたものである。内容が正しければ○，誤っていれば×とすると，○×を正しく組み合わせているものはどれか，下のア～オから1つ選びなさい。

- ① 「どんなときに死にたいと思うの？」と，死にたいという気持ちについて率直に尋ねる。
- ② 「死にたい」と自殺の危険が高い様子であったが，「他の人には言わないで」と言われた場合は，本人との約束を最優先する。
- ③ 「死ぬなんてバカなことを考えてはいけない」と，死にたい気持ちを否定し，強めに叱る。
- ④ 「死にたいくらい辛いことがあるのね。あなたのことがとても心配だよ」と，ことばに出して心配していることを伝える。

	①	②	③	④
ア	○	×	○	×
イ	×	○	○	×
ウ	×	×	×	○
エ	×	○	×	○
オ	○	×	×	○

- 5 次の文章は、学習指導要領の総則に示された道德教育に関する記述について、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に共通した部分の抜粋である。文章中の空欄（①）～（⑤）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

道德教育を進めるに当たっては、（①）の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、（②）心をもち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と（③）を愛し、（④）文化の創造を図るとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く（⑤）のある日本人の育成に資することとなるよう特に留意すること。

	①	②	③	④	⑤
ア	人間尊重	健やかな	家族	個性豊かな	主体性
イ	世界平和	健やかな	家族	伝統と革新による	主体性
ウ	人間尊重	豊かな	郷土	個性豊かな	主体性
エ	世界平和	健やかな	郷土	伝統と革新による	自主性
オ	人間尊重	豊かな	郷土	伝統と革新による	自主性

- 6 次の文章は、学習指導要領で示された道德教育に関する配慮事項について、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校で共通した部分をまとめたものである。文章中の空欄（①）～（④）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

学校や学級*¹内の（①）や環境を整えるとともに、集団宿泊活動*²やボランティア活動、自然体験活動、（②）への参加などの豊かな体験を充実すること。また、道德教育の指導内容が、児童*³の（③）に生かされるようにすること。その際、（④）や安全の確保等にも資することとなるよう留意すること。

*1 高等学校及び特別支援学校高等部では「ホームルーム」

*2 中学校及び特別支援学校中学部では「職場体験活動」、高等学校及び特別支援学校高等部では「就業体験活動」

*3 中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部では「生徒」

	①	②	③	④
ア	組織づくり	社会的行事	学校生活	けがの防止
イ	人間関係	地域の行事	学校生活	けがの防止
ウ	人間関係	社会的行事	学校生活	いじめの防止
エ	人間関係	地域の行事	日常生活	いじめの防止
オ	組織づくり	社会的行事	日常生活	いじめの防止

- 7 次の文章は、「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 報告」（令和3年1月）からの抜粋である。文章中の空欄（①）～（④）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

（我が国の特別支援教育に関する考え方）

- 特別支援教育は、障害のある子供の自立や（①）に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子供一人一人の（②）を把握し、その持てる力を高め、（③）や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。また、特別支援教育は、（④）のある子供も含めて、障害により特別な支援を必要とする子供が在籍する全ての学校において実施されるものである。

	①	②	③	④
ア	就職	障害の状態	生活	発達遅滞
イ	就職	教育的ニーズ	行動	発達障害
ウ	社会参加	障害の状態	生活	発達障害
エ	社会参加	障害の状態	行動	発達遅滞
オ	社会参加	教育的ニーズ	生活	発達障害

- 8 次の文章は、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）（令和3年1月26日 中央教育審議会）からの抜粋である。文章中の空欄（①）～（⑤）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

- 特別支援教育を受けてきた子供の指導や（①）の状況等を、（②）等を活用し、学校間で適切に引き継ぎ、各学校における障害に配慮した適切な指導につなげることが重要である。その際、（③）との趣旨の違いに留意しながら、共通して引き継がれるべき事項をより明確にするとともに、統合型校務支援システムの活用を図るなど教育の（④）の動向も踏まえた環境整備を行うことが必要である。
- 就職後の定着を図るため、関係機関・関係者間で必要な配慮等の確実な引継ぎがなされるよう、教育における（②）と、（⑤）におけるサービスの利用計画や事業所の個別支援計画、労働における移行支援計画とが一体的に情報提供や情報共有ができるような仕組みの検討や、就職時及び就職後のアフターケアなどの就労支援の充実が必要であり、そのためには、卒業時の移行支援や卒業後の就労支援における特別支援学校と関係機関との役割や連携の在り方などの検討が必要である。

	①	②	③	④	⑤
ア	生育歴	個別的教育支援計画	個別の援助計画	情報化	福祉
イ	合理的配慮	指導要録	個別の援助計画	情報化	福祉
ウ	合理的配慮	個別的教育支援計画	個別の指導計画	情報化	介護
エ	生育歴	指導要録	個別の援助計画	デジタル化	介護
オ	合理的配慮	個別的教育支援計画	個別の指導計画	デジタル化	福祉

- 9 次の文章は、「京都府人権教育・啓発推進計画（第2次：改定版）」（令和3年3月）第4章 人権教育・啓発の推進 2 人権に
特に関係する職業従事者に対する研修等の推進 からの抜粋である。文章中の空欄（①）～（⑤）に当てはまる語句を正しく
組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

学校における教育の担い手である教職員は、未来を担う子どもの人権を尊重して子どもの（①）や幸福追求を効果的に支
援するとともに、子どもの人権意識の高揚を図る上で重要な役割を果たします。そのため、教職員自らが豊かな（②）、高
い人権意識を持つことや人権教育に関する指導力を向上させることが不可欠です。特にいじめの未然防止・早期発見・早期対応
や体罰根絶に向けた取組や教職員研修を徹底することが必要です。

また、教職員の大量退職・大量採用のもとで、教職経験の多寡にかかわらず高い人権意識をもった教職員を育成するために、
（③）の中で積み上げられてきた成果や（④）への評価を踏まえ、その継承と発展を図るとともに、子どもの心理面や
（⑤）についての専門的知見も取り入れながら、人権教育に取り組む必要があります。

	①	②	③	④	⑤
ア	進路実現	感性	同和教育	課題	福祉面
イ	自己実現	人権感覚	同和教育	手法	福祉面
ウ	自己実現	感性	学校教育	課題	福祉面
エ	進路実現	人権感覚	学校教育	手法	社会面
オ	自己実現	人権感覚	同和教育	課題	社会面

- 10 次の文は、「部落差別の解消の推進に関する法律」（平成28年法律109号）からの抜粋である。文中の空欄（①）～（⑤）
に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

（目的）

第一条 この法律は、現在もなお部落差別が存在するとともに、（①）の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じ
ていることを踏まえ、全ての国民に（②）の享有を保障する（③）の理念にのっとり、部落差別は許されないも
のであるとの認識の下にこれを解消することが重要な課題であることに鑑み、部落差別の解消に関し、基本理念を定め、
並びに国及び地方公共団体の（④）を明らかにするとともに、相談体制の充実等について定めることにより、部落差
別の解消を推進し、もって部落差別のない（⑤）を実現することを目的とする。

	①	②	③	④	⑤
ア	情報化	基本的人権	日本国憲法	責務	社会
イ	情報化	自由及び権利	教育基本法	努力義務	社会
ウ	情報化	基本的人権	日本国憲法	努力義務	まちづくり
エ	国際化	基本的人権	教育基本法	責務	まちづくり
オ	国際化	自由及び権利	日本国憲法	責務	社会

- 11 次の文章は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会答申）からの抜粋である。文章中の空欄（①）～（⑤）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

- キャリア教育については、中央教育審議会が平成23年1月にまとめた答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」を踏まえ、その理念が浸透してきている一方で、例えば、職場体験活動のみをもってキャリア教育を行ったものとしているのではないか、社会への（①）を考慮せず、次の学校段階への進学のみを見据えた指導を行っているのではないか、職業を通じて未来の社会を創り上げていくという視点に乏しく、特定の既存組織のこれまでの在り方を前提に指導が行われているのではないか、といった課題も指摘されている。また、将来の夢を描くことばかりに力点が置かれ、（②）の現実や必要な資質・能力の育成につなげていく指導が軽視されていたりするのではないか、といった指摘もある。
- こうした課題を乗り越えて、キャリア教育を効果的に展開していくためには、（③）を通じて必要な資質・能力の育成を図っていく取組が重要になる。小・中学校では、特別活動の学級活動を中核としながら、（④）の時間や学校行事、特別の教科 道徳や各教科における学習、個別指導としての進路相談等の機会を生かしつつ、学校の教育活動全体を通じて行うことが求められる。高等学校においても、小・中学校におけるキャリア教育の成果を受け継ぎながら、特別活動のホームルーム活動を中核とし、（⑤）の時間や学校行事、公民科に新設される科目「公共」をはじめ各教科・科目等における学習、個別指導としての進路相談等の機会を生かしつつ、学校の教育活動全体を通じて行うことが求められる。

	①	②	③	④	⑤
ア	参加	「働くこと」	教育課程全体	総合的な探究	総合的な学習
イ	接続	「働くこと」	教科活動全体	総合的な探究	総合的な学習
ウ	接続	「働くこと」	教育課程全体	総合的な学習	総合的な探究
エ	参加	「生きていくこと」	教育課程全体	総合的な学習	総合的な探究
オ	参加	「生きていくこと」	教科活動全体	総合的な学習	総合的な探究

- 12 次の①～⑤の文の説明に当てはまる人物を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。
- ① 著書に『学校と社会』や『経験と教育』などがある。子どもが主体的に経験をとおして学ぶ教育法を唱えた。
- ② 著書に『人間の教育』などがある。「恩物」と呼ばれる教育玩具を考案し、「一般ドイツ幼稚園」を創設した。
- ③ 著書に『エミール』などがある。教育とは、人間として本来誰にでも備わっているものを引き出していくことと唱えた。
- ④ 著書に『新機関』などがある。観察と実験の蓄積によって得られた経験的事実に基づき、真理を明らかにしていく帰納法を唱えた。
- ⑤ 著書に『大教授学』などがある。教育の機会を与えられなかった人も含めて、全ての人間に対して教育の機会は与えられるものと唱えた。

	①	②	③	④	⑤
ア	デューイ	フレーベル	ルソー	ペーコン	コメニウス
イ	デューイ	フレーベル	ルソー	ピアジェ	モンテーニュ
ウ	ヴィゴツキー	マズロー	ルソー	ペーコン	コメニウス
エ	ヴィゴツキー	マズロー	ブルーム	ペーコン	モンテーニュ
オ	ヴィゴツキー	フレーベル	ブルーム	ピアジェ	モンテーニュ

13 次の①～④の文は、ストレンジ・シチュエーション法による愛着の質の類型化について説明したものである。内容が正しければ○、誤っていれば×とすると、○×を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

- ① 養育者と一緒に遊ぼうとしたり養育者に抱きついたりすることもある一方で、分離後の再会場面ではいつまでも怒りがおさまらず拒否的な態度をみせたりする子どもたちを『葛藤型（アンビバレント型）』と呼ぶ。
- ② 養育者に対して分離不安を示し、見知らぬ人に対しては不安を示し、養育者が戻ってくると喜びの態度で迎える子どもたちを『回避型』と呼ぶ。
- ③ 養育者が同じ部屋の中においても養育者を無視するかのように1人で遊び、養育者の退室をいやがらず、再会においてもとくに養育者を歓迎しない子どもたちを『安定型』と呼ぶ。
- ④ 養育者に対しておびえたり、立ちすくんだりする不可解な態度をとる子どもたちを『無秩序・無方向型』と呼ぶ。

	①	②	③	④
ア	○	×	○	○
イ	○	×	×	○
ウ	○	○	×	×
エ	×	○	○	×
オ	×	○	○	○

14 次の①～⑤の文は、防衛機制について説明したものである。内容が正しければ○、誤っていれば×とすると、○×を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

- ① 容認しがたい思考、観念、感情、衝動、記憶などを意識の外に閉め出すことを「抑圧」という。
- ② 自分の行動の本当の動機を無意識のうちに隠し、ほかのもっともらしい理屈をつけて納得することを「逃避」という。
- ③ 抑圧された反社会的な衝動が社会的、文化的に価値ある活動に置き換えられることを「昇華」という。
- ④ 自分もっている考えや感情を、他人がそのような考えや感情をもっているとみなすことを「置換え」という。
- ⑤ 嫌いな相手を過度に親切に扱うなど、抑圧している欲望や衝動と正反対の態度や行動をとることを「反動形成」という。

	①	②	③	④	⑤
ア	○	×	○	○	×
イ	○	○	×	×	○
ウ	○	×	○	×	○
エ	×	○	○	○	×
オ	×	○	×	○	○

15 次の各法律の条文中の空欄（ ① ）～（ ⑤ ）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

「教育基本法」（昭和22年法律25号）

第9条 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず（ ① ）に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

「いじめ防止対策推進法」（平成25年法律71号）

第8条 学校及び学校の教職員は、基本理念にのっとり、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、（ ② ）その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの防止及び（ ③ ）に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

「学校教育法」（昭和22年法律26号）

第11条 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、（ ④ ）を加えることはできない。

「地方公務員法」（昭和25年法律261号）

第34条 職員は、（ ⑤ ）を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

	①	②	③	④	⑤
ア	研究と修養	児童相談所	早期発見	体罰	職務上知り得た秘密
イ	研修と陶冶	福祉施設	早期発見	処罰	職務上知り得た秘密
ウ	研究と修養	福祉施設	早期発見	処罰	個人情報
エ	研修と陶冶	福祉施設	撲滅	体罰	個人情報
オ	研究と修養	児童相談所	撲滅	体罰	個人情報

- 16 次の文章は、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）（令和3年1月26日 中央教育審議会）からの抜粋である。
 文章中の空欄（ ① ）～（ ⑤ ）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

中央教育審議会では、平成28年答申において、社会の変化にいかに対処していくかという受け身の観点に立つのであれば難しい時代になる可能性を指摘した上で、変化を前向きに受け止め、社会や人生、生活を、（ ① ）の感性を働かせてより豊かなものにする必要性等を指摘した。とりわけ、その審議の際にAIの専門家も交えて議論を行った結果、次代を切り拓く子供たちに求められる資質・能力としては、文章の意味を正確に理解する読解力、教科等固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し新しい解や（ ② ）を生み出す力などが挙げられた。

また、豊かな情操や規範意識、（ ③ ）の尊重、自己肯定感・自己有用感、他者への思いやり、対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力、困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力、（ ④ ）の育成等を図るとともに、子供の頃から各教育段階に応じて（ ⑤ ）、健康の確保を図ることなどは、どのような時代であっても変わらず重要である。

	①	②	③	④	⑤
ア	人間ならではの	納得解	自他の生命	公共の精神	体力の向上
イ	自ら	共通解	自他の生命	情報活用能力	体力の向上
ウ	人間ならではの	共通解	自他の生命	公共の精神	言語能力の向上
エ	自ら	納得解	人権	情報活用能力	体力の向上
オ	人間ならではの	納得解	人権	情報活用能力	言語能力の向上

- 17 次の文章は、教育に係る用語について説明したものである。文章中の空欄（ ① ）～（ ⑤ ）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選べなさい。

・STEAM教育

STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加え、（ ① ）、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲でAを定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習。

・（ ② ）教育システム

人間の多様性の尊重等を強化し、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。

・キャリア教育

一人一人の社会的・（ ③ ）自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

・（ ④ ）評価

成功の度合いを示す数レベル程度の尺度と、それぞれのレベルに対応するパフォーマンスの特徴を示した記述語（評価規準）からなる評価基準表をもとに行う評価。

・メディアリテラシー

放送番組やインターネット等各種メディアを（ ⑤ ）に読み解く能力や、メディアの特性を理解する能力、新たに普及するICT機器にアクセスし活用する能力、メディアを通じコミュニケーションを創造する能力等のこと。

	①	②	③	④	⑤
ア	医療	特別支援	職業的	ループリック	論理的
イ	芸術	特別支援	経済的	ポートフォリオ	主体的
ウ	医療	インクルーシブ	経済的	ポートフォリオ	論理的
エ	芸術	インクルーシブ	職業的	ループリック	主体的
オ	医療	インクルーシブ	経済的	ループリック	主体的

- 18 次の文章は、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」（令和4年3月 文部科学省）からの抜粋である。文章中の空欄（ ① ）～（ ⑤ ）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

教育においては、社会全体のデジタル化、デジタルトランスフォーメーション（（ ① ））、Society5.0時代の到来という大きな潮流の中で、学校教育の基盤的なツールとしてICTは必要不可欠なものであり、（ ② ）スクール構想に基づく1人1台端末の本格運用を進めることによって、一人一人の多様なニーズや特性等に対応した（ ③ ）と協動的な学びを充実させることが重要である。

そのためには、児童生徒の（ ④ ）（スタディ・ログ）、生活・健康情報（ライフ・ログ）、教職員の支援等に関する情報とその効果・有効性の評価（アシスト・ログ）等を、低コストでありながら、セキュリティも担保して、有機的に結びつけながら活用できる環境構築が必要である。

さらには、新しい教育の提供手段や緊急時における教育提供手段として、（ ⑤ ）型の遠隔授業へのニーズも高まっている。そうした新しい教育ニーズに技術的にも経済的にも対応可能な学校ICT環境の整備が必要となる。

	①	②	③	④	⑤
ア	D T	スマート	持続可能な学び	学習過程	同時双方向
イ	D X	スマート	持続可能な学び	学習履歴	サテライト
ウ	D T	G I G A	個別最適な学び	学習過程	サテライト
エ	D X	G I G A	個別最適な学び	学習履歴	同時双方向
オ	D T	G I G A	持続可能な学び	学習履歴	同時双方向

- 19 次の文章は、「第2期 京都府教育振興プラン」（令和3年3月 京都府教育委員会）からの抜粋である。文章中の空欄（①）～（④）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

超スマート社会やグローバル社会への対応として、A Iの力を活用する一方で、人間の強みである想定外の事態に向き合い（①）する力や新たな価値を生み出す力を育成することが必要です。現代社会を生き抜いていくための力、社会の担い手として生きる力をはぐくんでいくことは、（②）などにより、さらに重要度を増しています。

そのためには、多様な他者と関わり対話を通じて学びあうという学校の営みを大切にしながら、これからの学びを支えるICTや先端技術を効果的に活用し、時代の変化に応じた教育を行わなければなりません。また、教員自身が教職生涯を通じて（③）をもって学び続け、時代の変化に対応して求められる資質や能力を身に付けていく必要があるのです。

京都府教育委員会では、変化を恐れず前向きに受け止め、（④）を基盤とした京都府ならではの学校教育と社会教育とを通じて、子どもから大人まですべての人々が生涯にわたって力強く歩み続け、高い志をもって、よりよい社会と幸福な人生の創り手となれる人づくりを進めていきます。

	①	②	③	④
ア	解決	成年年齢引き下げ	向上心	人権尊重
イ	解決	新学習指導要領の実施	向上心	文化や伝統
ウ	調整	新学習指導要領の実施	探究心	文化や伝統
エ	調整	成年年齢引き下げ	探究心	人権尊重
オ	調整	成年年齢引き下げ	向上心	文化や伝統

- 20 次の文章は、「コミュニティ・スクールを始めるにあたって」（令和元年度版 京都府教育委員会）からの抜粋である。文章中の空欄（ ① ）～（ ④ ）に当てはまる語句を正しく組み合わせているものはどれか、下のア～オから1つ選びなさい。

グローバル化や情報化、技術革新など、急激な社会の変化は、子ども達を取り巻く環境の変化だけでなく、学校が抱える課題の複雑化、多様化も生み出しています。このような子ども達を取り巻く環境も含めた複雑かつ多様な課題は、学校だけではもはや解決することはできず、学校や地域、関係機関が一体となって「（ ① ）」による取組みが不可欠となっています。その教育の実現のために考えられたのが「コミュニティ・スクール（（ ② ）が設置された学校）」です。また、この「コミュニティ・スクール」については、平成29年4月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正がなされ、導入が努力義務化されたことで、より一層、学校と地域が連携を深めることができる仕組みとして各学校での取組みが求められています。

（中略）

今後、各学校においてコミュニティ・スクールの導入が進んでいく中、学校と地域が想いを共有できる場づくりが進み、学校と地域が一体となって（ ③ ）な教育活動を少しずつ実現していくことで、学校、保護者、地域の方々が当事者として（ ④ ）を感じ、達成感を味わえるような成功体験を積み重ねることができます。

	①	②	③	④
ア	幼児期から成人までを見通した教育	学校評価委員会	対話的	成果
イ	社会総掛かりでの教育	学校運営協議会	協働的	成果
ウ	社会総掛かりでの教育	学校評価委員会	協働的	責任
エ	幼児期から成人までを見通した教育	学校運営協議会	協働的	成果
オ	幼児期から成人までを見通した教育	学校運営協議会	対話的	責任

令和5年度教職教養 正答表

問題番号	正答
1	イ
2	オ
3	エ
4	オ
5	ウ
6	エ
7	オ
8	オ
9	イ
10	ア
11	ウ
12	ア
13	イ
14	ウ
15	ア
16	ア
17	エ
18	エ
19	エ
20	イ